



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2019th

令和2年1月31日

2月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

オリ・パラに学ぶ キーワードは？

校長 鶴飼 数夫

大寒という一年で一番寒い時期が過ぎ、来週からはよいよ暦の上では春の到来です。例年だとインフルエンザが大流行する時期ですが、本校では12月にピークを迎え、現在では終息しています。しかし、油断してはいけません。今後も手洗い・うがいを励行し、感染拡大に努めていきたいところです。

さて、その12月の人権週間に、車いすバスケットボールを中心にしたパラスポーツとの出会いがありました。本校の子どもたちにとっては、とても貴重な意義のある体験となりました。

まずは、全校集会で、パラリンピアン森紀之選手にご講演をいただきました。森さんは、車いすバスケットボールの元日本代表選手でパラリンピックに2回出場し、48歳の現在も現役選手として活躍し、東京パラリンピックも目指しています。16歳でけがをするまでは、野球・水泳・バレーボール・ラグビーと多くのスポーツを経験し、けがで入院しているときに訪れてきた見舞客の人違いがきっかけとなって、車いすバスケットを勧められて始めたそうです。当初は未経験のスポーツに対して戸惑いもありましたが、やらないで後悔するより、やって失敗して反省した方がよいと考えて本格的に取り組み、日本代表にまでなりました。森さんによると、夢を実現するには、なりたいという気持ちをもつこと、仲間とライバルの存在、好きだからこそ夢中になることが大切だということです。そして、現在、森さんは、車いすバドミントンにも挑戦中だそうです。今は少しずつでも、小さな目標の積み重ねが大きな夢の実現につながるということです。物事を明るく前向きにとらえて行動することの大切さを学びました。



車いすバスケットボールの魅力は、コート上での激しいぶつかり合い、巧みな車いす操作などがありますが、注目すべきは、選手の障害の程度に合わせて同じゴールを決めても加算される持ち点を変えることで、障害の重い人と軽い人が一緒に出場し、共存しながらプレーできることです。ということは障害がない健常者でも一緒にプレーができるということです。現に、講演会の後、6年生が参加した体験会では、健常者の選手が参加していました。彼は、大学生時代から車いすバスケのサークルで活動し、社会人となった今でもチームに所属してプレーヤーとして大会にも出場しているそうです。そうやってくると、車いすバスケは、もはや障害のある人たちだけが楽しむスポーツではなく、新たなジャンルのスポーツ種目としてとらえられてきます。ここに、パラスポーツの未来を感じることができます。

先日、2020オリンピック・パラリンピック東京大会の開会式入場行進で日本選手団が着用する公式ユニフォームが発表されました。1964年の東京大会の時と同様に、日の丸の赤と白をベースカラーにしたものですが、注目すべきことは、オリンピックとパラリンピック両大会とも同じデザインにしたということです。これは、今回が初めてだということにも驚きですが、とても喜ばしいことです。こうして少しずつですが、世の中、時代の意識は進化していきます。これからの時代のキーワードは「多様性」と「共生」。お互いの違いや特性を理解し合い認め合い共に生きていく。みんなちがってみんないい。

どうせなら、オリ・パラ分けずに一緒に大会を実施すればいいのに、、、というのは私の願いです。